

2014 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” 開催される

平成26年10月4日、駒沢オリンピック公園中央広場（東京都世田谷区）において、「2014 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”」が、日本獣医師会の活動方針である「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」をテーマとして、多数の来場者を得て盛大に開催された。

本行事は、第8回目を迎えるが、動物の診療だけではなく人の健康にも深くかかわる様々な仕事に取り組む獣医師の役割とともに、動物たちが担う社会的役割の多様性を広く一般に普及して理解を促進することにより、動物愛護思想の普及・啓発、人と動物が共存して生きる豊かな社会の実現に寄与することを目的に開催する公益目的事業として実施するもので、本会主催、関係省庁・獣医師関係団体等の後援、関連企業等の協賛、関連団体、獣医学系大学等の協力のもと、獣医師への理解を深めてもらうよう多数の催し物を企画し、獣医学系大学の学生、高校生、動物飼育者等をはじめ、多数の一般市民に会場いただいた。

当日は、開会式で、本会蔵内勇夫会長から、「多数の来賓並びに来場者の皆様をお迎えし、また、協賛・協力をいただいた企業・団体等の皆様の力強いご支援のもと本イベントが盛大に開催されることに感謝申し上げます。私たちの暮らしの中での動物たちの果たす役割、また、社会の中での獣医師の職責を広く市民の皆様理解していただくことがこの動物感謝デーの目的である。自然災害のニュースが続いているが、平常時も、緊急災害時も、人と動物のために力を尽くすのが獣医師の使命だと考えている。動物感謝デーを通じて市民の皆様の理解が一層深まることを期待する」旨の挨拶がなされた。ご来賓の自由民主党獣医師問題議員連盟事務局長 北村誠吾衆議院議員、公明党獣医師問題議員懇話会会長 斉藤鉄夫衆議院議員、経済産業副大臣自由民主党 山際大志郎衆議院議員、公明党 高木美智代衆議院議員、自由民主党 武見敬三参議院議員、自由民主党 片山さつき参議院議員、自由民主党 山田俊男参議院議員及び自由民主党 大家敏志参議院議員からも祝辞が述べられた。続いて、来賓、特別協賛者等の紹介、祝電披露の後、本会酒井健夫副会長から特別ゲストの垣内りかさんに対する一日動物親善大使任命が行われた。さらに、放鷹義塾により、開会宣言のメッセージを携えた鷹が客席の後方から、近藤信雄副会長のもとへ飛んで行くという演出が行われた後、近藤副会長から開会が宣言された。同時に、東京都

立園芸高等学校の協力によりカウントダウンとともにステージ脇から鳩が一斉に飛び立ち、開会に花を添えた。

引き続き、メインステージでは、日本全業工業株式会社及びメリアル・ジャパン株式会社から本会に200万円が贈呈されたセーブペットプロジェクト寄付金贈呈式、アルプス音楽団コンサート、会場を訪れた自由民主党 三原じゅん子参議院議員からの激励、東京都獣医師会の協力による災害発生時への対応と心構えを学ぶ「発災後72時間～ペットの命を守るために～」、日本獣医師会による「マイクロチップを知っていますか?」、東京都公園協会の協力による「ペットと一緒に公園デビュー!～知っておきたいルールとマナー～」、農場どないすんねん研究会の協力により獣医師の仕事と役割を紹介する「知っていますか? 獣医師の仕事」、鳥根県獣医師会及び鳥根県の協力による人気ご当地キャラクター「しまねっこ」のダンスステージが開催された。

また、イベントステージでは、各地の地方獣医師会の協力により出演した21体のキャラクターによるステージ「全国ご当地キャラクター・地域動物キャラクター大集合」(出演キャラクター:岩手県獣医師会協力による岩手県盛岡市キャラクター「チャンプくん」、山形県獣医師会協力による山形県山形市キャラクター「ペロリン」、栃木県獣医師会協力による栃木県キャラクター「とちまるくん」、栃木県宇都宮市キャラクター「ミヤリー」、千葉県獣医師会協力による千葉県キャラクター「チーバくん」、東京都獣医師会協力による東京都小笠原村キャラクター「あかぼっぽくん」、長野県獣医師会協力による長野県キャラクター「アルクマ」、長野県大町市キャラクター「おおまびょん」、長野県小川村キャラクター「おやキング」、静岡県獣医師会協力による静岡県磐田市キャラクター「しっぺい」、大阪府獣医師会協力による大阪府泉大津市キャラクター「おづみん」、大阪府大東市キャラクター「ダイトン」、大阪府岬町キャラクター「みさきーちょ」、大阪府箕面市キャラクター「滝の道ゆずる」、華やいで大阪 南泉州観光キャンペーン推進協議会キャラクター「なすびん」、鳥取県獣医師会協力による鳥取県キャラクター「トリピー」、鳥根県獣医師会協力による鳥根県キャラクター「しまねっこ」、岡山県獣医師会協力による岡山県キャラクター「ももっち」と「うらっち」、広島県獣医師会協力による広島県キャラクター「ブンカッキー」、山口県獣医師会協力による山口県キャラクター「ちよるる」、日本獣医師会マイクロチップ普及啓

発キャラクター「アイポくん」)、家庭動物愛護協会によるドッグダンス、テレビ新潟放送網による日本獣医師会推薦の映画「夢は牛のお医者さん」監督の時田美昭氏を迎えて製作感動秘話を紹介いただくトークショー、埼玉県獣医師会の協力によるチンドン歌謡ショー、日本獣医学生協会による全国の獣医学系大学の魅力を獣医学生が学園祭の雰囲気ながら紹介する「あにまる学園祭」、ジャパンケネルクラブによるアジリティ教室PR、おしゃれドッグファッションタウンによる「ペットファッションショー」などのプログラムが開催された。

展示コーナーでは、本会が獣医学生協会及び家庭動物愛護協会の協力を得て実施した「1日獣医師体験コーナー」に子供たちが列をなし、獣医学生の指導を受けながらの聴診体験に瞳を輝かせていたほか、全国の獣医学系大学がブース出展した「獣医学系大学コーナー」では、東京農工大学のミニホースとシバヤギのふれあいコーナーが人気を集めたほか、日本獣医学生協会の出展と各大学の出展により将来獣医師を目指す中高生への情報提供を行いつつ担当教員や学生が親身に相談にに応じていた。このほか、パネル等を用いた各企業・団体の活動紹介、さらに「各都道府県市獣医師会コーナー」では東北獣医師会連合会、福島県獣医師会／福島県動物救護本部、栃木県獣医師会、群馬県獣医師会、埼玉県獣医師会、千葉県獣医師会、神奈川県獣医師会、東京都獣医師会、新潟県獣医師会、長野県獣医師会、岐阜県獣医師会、中国地区獣医師会連合会、宮崎県獣医師会が出展し、各地の取り組みが紹介されるとともに、飲食物の提供を行ったブースでは各地の畜産物を賞味しようと来場者が列をなしていた。また、東京都獣医師会の協力により動物救護所が設置され、万に備えた。アトラクションとしては、子供たちを対象とした「乗馬体験」(日本中央競馬会)、ウサギ、モルモット、ミニブタ等とふれあう、「動物ふれあいコーナー」(東京都立園芸高等学校)、馬の蹄鉄投げで点数を競う「蹄鉄輪投げゲーム」(日本装蹄協会の会)では、子供たちが笑顔で参加し、警察犬、災害救助犬の実演が行われた「働く動物たち」(ジャパンケネルクラブ)、「聴導犬のデモンストレーション」(聴導犬普及協会)、鷹匠による伝統技術デモンストレーション(放鷹義塾)、アジリティ教室(ジャパンケネルクラブ)等では、来場者は動物たちの演技や活躍に終始感心していた。

全てのプログラムの最後にメインステージで行われた閉会式では、高橋三男動物感謝デー企画検討委員会委員長・関東地区理事から、閉会挨拶として、本年のイベントが盛会裏に終了することへのお礼と来年の開催成功への願いが述べられた。続いて北村直人日本獣医師会顧問・動物感謝デー企画検討委員会副委員長から閉会が宣言された。

日本獣医師会では、今後とも、日本獣医師会・獣医師

会活動の指針の理念に基づき、本行事等を通じた、広く国民に対する動物との共生の重要性や獣医師の職務等の理解の醸成に努めることとしている。

以下に後援、協賛いただいた省庁、自治体、企業、団体を改めて紹介するとともに、多くの企業・団体からの温かい支援、全国55地方獣医師会、地区獣医師会連合会の出展、協賛等への協力、さらに日本獣医学生協会による事業運営支援に対して改めてお礼申し上げたい。

2014 動物感謝デー in JAPAN 後援・協賛・協力団体

【後援】

農林水産省、環境省、厚生労働省、文部科学省、外務省、国土交通省観光庁、内閣府食品安全委員会、東京都、世田谷区、目黒区、公益社団法人 日本動物病院協会、公益社団法人 日本獣医学会、一般社団法人 日本動物看護職協会、World Veterinary Association、ヒトと動物の関係学会、AIPO (動物ID普及推進会議)

【特別協賛】

共立製薬株式会社、日本全薬工業株式会社、ロイヤルカナン ジャボン合同会社、メリアル・ジャパン株式会社、日本ヒルズ・コルゲート株式会社、トヨタ自動車株式会社、アクアクララ株式会社、株式会社ペットオフィス

【協賛・協力】

日本中央競馬会、公益社団法人 全国農業共済協会、公益社団法人 中央畜産会、公益社団法人 日本愛玩動物協会、公益社団法人 日本装蹄協会の会、公益財団法人 日本動物愛護協会、公益社団法人 Knots、一般社団法人 家庭動物愛護協会、一般社団法人 ジャパンケネルクラブ、一般財団法人 全国緊急災害時動物救援本部、一般社団法人 全国ペット協会、一般社団法人 どうぶつ家族の会、一般社団法人 日本小動物獣医師会、一般社団法人 ペットフード協会、特定非営利活動法人 聴導犬普及協会、特定非営利活動法人 日本介助犬アカデミー、特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会、狂犬病臨床研究会、農場管理獣医師協会、農場どないすんねん研究会 (NDK)、放鷹義塾、学校法人 シモゾノ学園／国際動物専門学校・大宮国際動物専門学校、学校法人 ヤマザキ学園／ヤマザキ学園大学、東京都立園芸高等学校、日本獣医学生協会、北海道大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京大学、東京農工大学、岐阜大学、鳥取大学、山口大学、宮崎大学、鹿児島大学、大阪府立大学、酪農学園大学、北里大学、日本獣医生命科学大学、日本大学、麻布大学、アニコム損害保険株式会社、イオンペット株式会社、株式会社 インターズー、有限会社 カザマバッグ、環境プラント工業株式会社、絹株式会社、株式会社 共立商会、グランメイト株式会社、クリロン化成株式会社、株式会社 サン・クロレラ、株式会社 三幸、株式会社 誠文堂新光社、千寿製薬株式会社、総合住宅展示場

駒沢公園ハウジングギャラリー，株式会社 ディー・アクション，デビフペット株式会社，株式会社 テレビ新潟放送網，Dog Life Design，日生研株式会社，株式会社 パワープロジェクト，有限会社 ビッグブリッジ，富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社，ペットベスト少額短期保険株式会社，株式会社 緑書房，森久保薬品株式会社，ユニ・チャーム株式会社，ライオン商事株式会社，ルノー・ジャポン株式会社，株式会社 安田システムサービス，損害保険ジャパン日本興亜株式会社

【協力地方獣医師会】

公益社団法人 北海道獣医師会，公益社団法人 青森県獣医師会，一般社団法人 岩手県獣医師会，公益社団法人 宮城県獣医師会，公益社団法人 秋田県獣医師会，公益社団法人 山形県獣医師会，公益社団法人 福島県獣医師会，公益社団法人 仙台市獣医師会，公益社団法人 茨城県獣医師会，公益社団法人 栃木県獣医師会，公益社団法人 群馬県獣医師会，公益社団法人 埼玉県獣医師会，公益社団法人 千葉県獣医師会，公益社団法人 神奈川県獣医師会，公益社団法人 山梨県獣医師会，公益社団法人 横浜市獣医師会，公益社団法人 川崎市獣医師会，公益社団法人 東京都獣医師会，公益社団法人 新潟

県獣医師会，公益社団法人 富山県獣医師会，公益社団法人 石川県獣医師会，公益社団法人 福井県獣医師会，一般社団法人 長野県獣医師会，公益社団法人 岐阜県獣医師会，公益社団法人 静岡県獣医師会，公益社団法人 愛知県獣医師会，公益社団法人 名古屋市獣医師会，公益社団法人 三重県獣医師会，公益社団法人 滋賀県獣医師会，公益社団法人 京都府獣医師会，公益社団法人 大阪府獣医師会，一般社団法人 兵庫県獣医師会，公益社団法人 奈良県獣医師会，公益社団法人 和歌山県獣医師会，公益社団法人 京都市獣医師会，公益社団法人 大阪市獣医師会，公益社団法人 神戸市獣医師会，公益社団法人 鳥取県獣医師会，公益社団法人 島根県獣医師会，公益社団法人 岡山県獣医師会，公益社団法人 広島県獣医師会，公益社団法人 山口県獣医師会，公益社団法人 徳島県獣医師会，公益社団法人 香川県獣医師会，公益社団法人 愛媛県獣医師会，公益社団法人 高知県獣医師会，公益社団法人 福岡県獣医師会，公益社団法人 佐賀県獣医師会，公益社団法人 長崎県獣医師会，一般社団法人 熊本県獣医師会，公益社団法人 大分県獣医師会，一般社団法人 宮崎県獣医師会，公益社団法人 鹿児島県獣医師会，公益社団法人 沖縄県獣医師会，公益社団法人 北九州市獣医師会



図1 主催者代表挨拶をする藏内会長



図2 酒井副会長から一日動物親善大使任命された垣内りか氏



図3 開会宣言を運ぶハリスホークを待ち受ける近藤副会長



図4 セーブペットプロジェクト寄付金贈呈式
(左から日本全業工業(株)渡辺 悟執行役員，メリアル・ジャパン(株)永田 正代表取締役社長，本会藏内会長)



図5 動物ふれあいコーナー（東京都立園芸高校）で動物とふれあう来場者



図6 「知っていますか？獣医師の仕事」（農場どないすんねん研究会）



図7 一日獣医師体験コーナーで獣医学生の指導を受けながら犬の心音を聴く親子



図8 アジリティ教室（ジャパンケネルクラブ）に取り組む参加者



図9 乗馬体験（日本中央競馬会）をする参加者



図10 全国ご当地キャラクター・地域動物キャラクター大集合



図11 閉会の挨拶をする高橋三男動物感謝デー企画検討委員会委員長・日本獣医師会関東地区理事



図12 閉会宣言をする北村直人日本獣医師会顧問・動物感謝デー企画検討委員会副委員長